

発行通知書

【限定お客様向け】

Space-E/Mold

Version 5.2

ACIS[®] は、Spatial Corporation によって US Patent and Trade Mark Office（米国特許庁）に商標登録されています。

DXF は、米オートデスク社の登録商標です。

Windows[®] XP、Windows[®] Vista、Windows[®] 7 またその他のマイクロソフト製品の名称および製品名は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

その他の製品および会社名等は、各社の商標または登録商標です。

■ ご注意

- 本書の内容及びソフトウェアは、予告無しに変更されることがあります。
- 本書の内容は細心の注意をもって作成していますが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気付きの点がございましたら、弊社または販売代理店までご連絡ください。
- 本書に記述するソフトウェアを運用した結果発生する損害につきましては、本書の記述およびソフトウェアの不備にかかわらず責任を負いかねますので、ご了承ください。
- 本書および本書に記載するソフトウェアは、著作権法上の保護を受けています。
- 株式会社 NTT データエンジニアリングシステムズに対し文書の承認を得ずに、無断で本書およびソフトウェアの一部あるいは全部について、複写および複製することは禁じられています。

目 次

1. Space-E/Mold Ver.5.2 で追加された機能	1
1.1. 準標準部品(ユーザ部品)のエラー表示.....	1
1.2. ユーザ部品、ユニット部品の寸法値エラー表示	1
1.3. エジェクタピンの最適化.....	2
2. Space-E/Mold Ver.5.2 で改良された機能	3
2.1. ユニット部品編集の高速化.....	3
2.2. エジェクタピンと回り止め穴の一括配置	3
2.3. Mold 属性の Modeler 表示.....	3
2.4. キリ穴最適化コマンドの高速化.....	3
3. 動作環境	4
4. ライセンス	5
5. インストール	5
5.1. Space-E/Draw Ver.1.8 のインストールについて.....	5
6. マニュアル	5
7. 制限事項	6
7.1. ユーザ定義部品の引継ぎ	6
7.2. ユーザ部品.....	6
7.3. エジェクタピンカット機能(cutejpin,listejpin).....	6
7.4. キリ穴最適化(lfix).....	6
7.5. アンギュラピン長さ調整(magpin).....	6
7.6. アイボルト(slbt)	6
7.7. 入れ子設定(insthole).....	6
7.8. 角・段付きエジェクタピン(asejpin)	7
7.9. 傾斜ピン・ユニット作成(sldu).....	7
7.10. 直角冷却作成(lline)	7
7.11. 冷却トリム(whtt)	7
7.12. 標準モールドベースの作成機能(plbase)について.....	8
7.13. アセンブリ拘束とシミュレーション機能(mvdm)について.....	8
7.14. カタログウィンドウからドラッグ&ドロップで登録されたモールド部品について	8
7.15. 旧バージョンとの共存について	8
7.16. アンインストール時の環境復旧について	9

1. Space-E/Mold Ver.5.2 で追加された機能

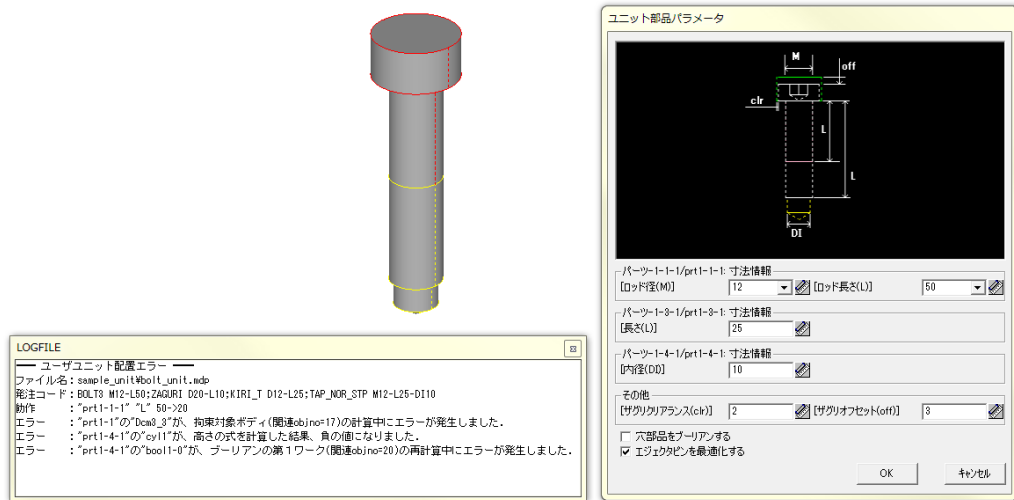
1.1. 標準部品(ユーザ部品)のエラー表示

作成したユーザ部品の XML ファイルのエラー概要を出力する機能を追加しました。ユーザ部品のフォルダを指定することでエラーチェックを行います。エラーの内容は CSV ファイルに出力されます。

A	B	C
### ユーザ部品XMLのエラー検出 ###		
#検出内容:XMLの合法性	検出モード: Easyモード	
#開始時間:16:01.12 2012/10/16		
user_part_models¥test¥436_SSNT.upt	<param_combo_table>	rangeタイプ変数のmax値がmin値より小さい:G
user_part_models¥test¥6.3.upt	<param_combo_table>	寸法組合せが存在しません:[M=30.000000,L=100.000000,A=?]
user_part_models¥test¥6.5.upt	<param_combo_table>	寸法組合せが唯一ではありません:[M=30.000000,L=100.000000,A={40.000000,45.000000}]
user_part_models¥test¥slidecore.upt	エラーなし	

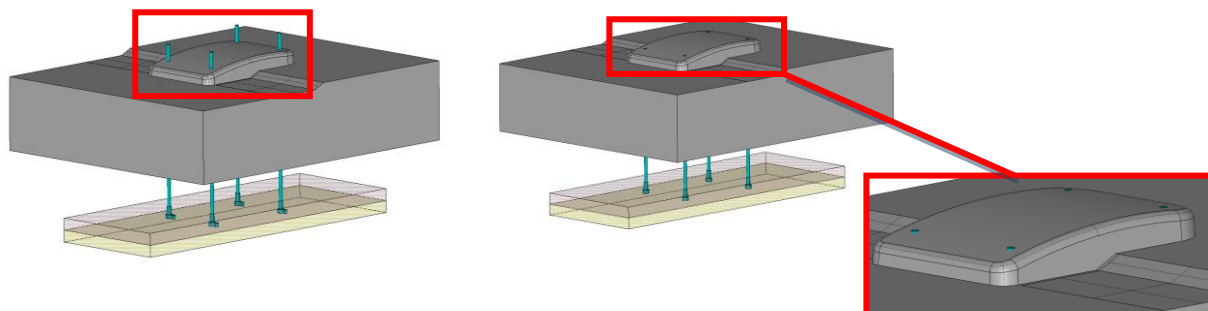
1.2. ユーザ部品、ユニット部品の寸法値エラー表示

ユーザ部品・ユニット部品の配置・編集時にエラーが発生した場合、具体的なエラー内容を表示できるようになりました。これにより、エラー原因が簡単に特定できるため、部品配置が効率よく行えます。



1.3. エジェクタピンの最適化

配置しているエジェクタピンに対して、おも型までの長さに変更する最適化が行えるようになりました。ピンの長さが発注コードの寸法に一致しない場合は、「長い寸法」の中で最も近い値の部品発注コードを作成します。



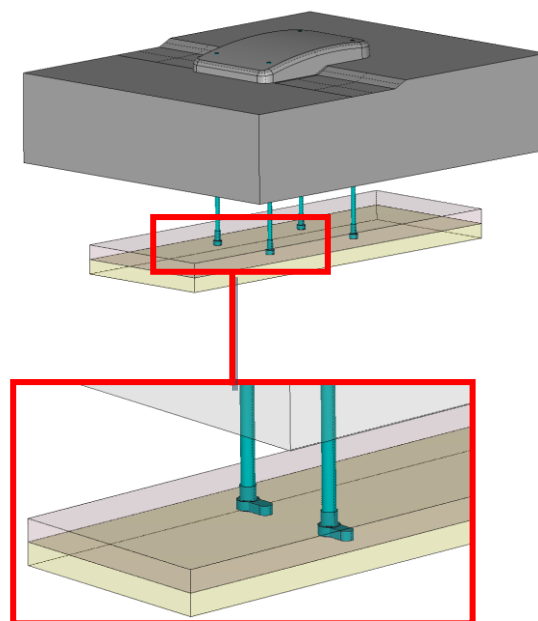
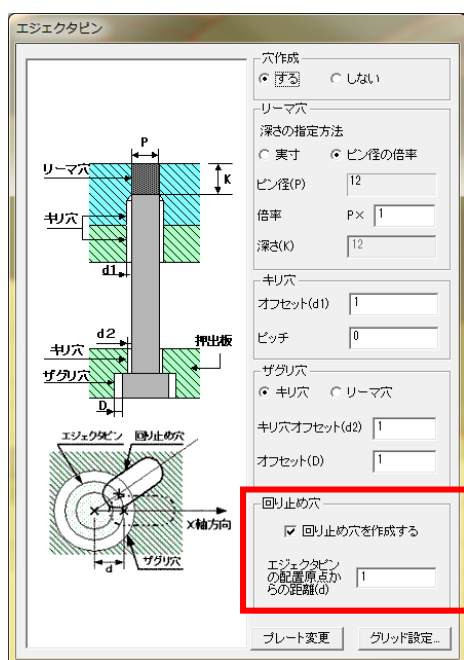
2. Space-E/Mold Ver.5.2 で改良された機能

2.1. ユニット部品編集の高速化

配置しているユニット部品に対して、編集処理の高速化を行いました。ユニット部品の指示からダイアログが表示されるまでの時間、および寸法変更から形状変更までの時間を最大で 3/10 に短縮できます。

2.2. エジェクタピンと回り止め穴の一括配置

「エジェクタピンの配置」、「回り止め穴の配置」コマンドを統合して「エジェクタピンの配置」コマンドで回り止め穴の有無を選択できるようになりました。これまで、2つのコマンドを実行する必要がありましたが、1つのコマンドでエジェクタピンと回り止め穴が配置できます。



2.3. Mold 属性の Modeler 表示

Space-E/Modeler の環境で、Mold 部品の情報を表示して確認できるようになりました。確認できるアイテム情報は、[メーカー名]・[種類]・[材質]・[比重]・[コード]・[価格]です。

2.4. キリ穴自動最適化コマンドの高速化

キリ穴自動最適化コマンドの高速化を行いました。30 倍程度の高速化を行いました。

3. 動作環境

Space-E/Mold Ver.5.2 を実行するために必要なシステム環境です。

OS環境	<ul style="list-style-type: none">• <i>Windows XP+ServicePack3</i>以降• <i>Windows 7 Professional</i>(64ビットを含む)
対応機種	<ul style="list-style-type: none">• <i>Windows XP-Pentium4</i> 1.5GHz以上 (推奨 <i>Pentium4</i> 2.0GHz以上)• <i>Windows 7 Core 2</i>以上
メモリ	<ul style="list-style-type: none">• <i>Windows XP</i>:512Mbytes 以上 (推奨 1Gbyte以上)• <i>Windows 7</i>:1Gbytes以上 (推奨 32ビットは2Gbyte以上、 64ビットは3Gbyte以上)
ディスク容量(スワップ)	<ul style="list-style-type: none">• システム 2Gbytes以上• ページファイル1Gbytes以上
その他(ハードウェア)	<ul style="list-style-type: none">• OpenGLボード(<i>Space-E</i>に準拠)• 3ボタンマウス• ネットワークボード
その他(ソフトウェア)	<ul style="list-style-type: none">• <i>Internet Explorer</i>7.0以上

- ※ *Space-E/Mold Ver.5.2* は *Windows NT* の環境にて動作しません。
- ※ *Space-E/Mold Ver.5.2* は *Windows 2000, Windows Vista* での動作保証は行っておりません。
- ※ *Space-E/Mold Ver.5.2* を動作させるには *Space-E/Modeler Ver.5.2* が必要です。
- ※ *Space-E/Draw Ver.1.8* に対応しています。
- ※ *Space-E/Modeler* :286Mbytes、*Space-E/Draw* :160Mbytes のディスク容量が別途必要になります。
- ※ *Windows XP + ServicePack3*(以下 *Windows XP SP3*)で動作させるとき、各種のセキュリティ警告が表示されることがありますが、これは、*Windows XP SP3* の仕様です。
この問題のための各種設定に関しては、インストールガイドの『付録 *Space-E* シリーズを *Windows XP ServicePack3* で動作させる際の注意点』を参照してください。

4. ライセンス

本バージョンは「*Space-E/Mold Ver.5.2*」に対応したライセンスで動作します。

5. インストール

インストール手順の詳細は『インストールガイド』を参照ください。

5.1. Space-E/Draw Ver.1.8 のインストールについて

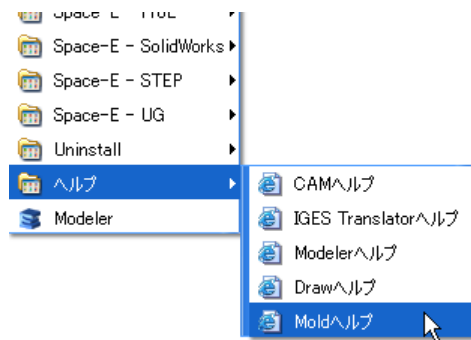
本バージョンのインストーラは *Space-E/Draw Ver.1.8* の実行環境に対して、*Space-E/Mold Ver.5.2* と連携するための拡張機能(プレート図作成機能)を一部追加します。

Space-E/Draw でこれらの拡張機能をお使いになる場合には、必ず、*Space-E/Draw Ver.1.8* の実行環境をインストールしたあとに、*Space-E/Mold Ver.5.2* をインストールしてください。

Space-E/Draw Ver.1.8 がインストールされていない場合は、本バージョンのインストーラは拡張機能を追加できません。

6. マニュアル

本バージョンの操作方法についての詳細は、オンラインマニュアルを参照してください。



7. 制限事項

7.1. ユーザ定義部品の引継ぎ

前バージョンで作成されたユーザ定義部品は、Ver.5.2 環境にもコピーをしてください。

7.2. ユーザ部品

- ・寸法・属性定義ファイル (XML) を編集する場合はテキストエディタ等で編集する必要があります。

- ・ユーザ部品形状は、1つのソリッドのみのサポートになります。複数のソリッドを含むユーザ部品を登録・配置を行うことはできますが、配置後の移動、コピー、部品編集等の処理が正しく部品単位で行われません。複数の部品を組み合わせる場合はユニット機能をご使用ください。

- ・ユーザ部品形状に通常の局所変形等の形状修正を行うことができますが、その場合部品情報が失われてしまう場合があります。

7.3. エジェクタピンカット機能(cutejpin,listejpin)

エジェクタピンの形状、型番は修正されません。

7.4. キリ穴最適化(lfix)

対象となる穴は、キリ穴(止め)・キリ穴(丸止め)・リーマ穴(止め)・テーパ穴(止め)・ザグリ穴です。

7.5. アンギュラピン長さ調整(magpin)

パーティング面に対して角度のついているスライドコアには対応していません。

7.6. アイボルト(slbt)

計算対象は、Mold 属性を持つソリッドの部品のみです。

7.7. 入れ子設定(insthole)

- ・実行時に部品属性「キャビ側入れ子」「キャビ側おも型」または「コア側入れ子」「コア側おも型」を参照しているため、他の属性がついている部品や属性がついていないソリッドを選択、編集の対象にすることはできません。

- ・データベースにコーナーR ゼロが存在しないため、「逃がし穴無し」でコーナーR ゼロは設定できません。

- ・本バージョンでは「クリアランス」の設定は行えません。

7.8.角・段付きエジェクタピン(asejpin)

- ・現状、角・段付きエジェクタピン作成時に配置角度の指示はできません。常に0°方向になります。

7.9.傾斜ピン・ユニット作成(sldu)

- ・オイレス製スライドコアガイドユニット(ASN)を使用したとき、摺動距離のチェックが正しく行われなかったことがあります。

7.10.直角冷却作成(lline)

- ・入れ子を通る貫通穴を参照した編集では、「元の冷却穴のトリム・延長」をチェックしてもトリムを行うことができません。
- ・貫通穴に対してトリム処理を行った場合、残るのは常に基の水管の配置面として指示した方になります。
- ・現状、製品形状の干渉チェックは行われていません。

7.11.冷却トリム(whtt)

- ・違うプレートを通る2つの水管を指示した場合、警告が表示されトリム処理や水管の作成は行われません。
- ・入れ子を通る貫通穴を参照した編集では、「元の冷却穴のトリム・延長」をチェックしてもトリムを行うことができません。
- ・貫通穴に対してトリム処理を行った場合、残るのは常に基の水管の配置面として指示した方になります。
- ・現状、製品形状の干渉チェックは行われていません。
- ・入れ子を通る水管を編集するときは、分割されている穴の先端側を指示してください。根元側を指示すると、警告が表示され編集できません。

7.12.標準モールドベースの作成機能(plbase)について

本コマンドで作成できる双葉電子工業製の標準モールドベースは、同社が提供する「モールド金型用部品(ブルーブック)2003年版」に記載された4つのシリーズ(Sシリーズ、D・Eシリーズ、F・Gシリーズ、Hシリーズ)をサポートしています。

上記シリーズの、以下を除いた、全てのオプション仕様を選択することができます。

サポートされないオプション仕様：

- (1)「カセット型タイプ」
- (2)「材質変更仕様」
- (3)「追加加工」

モールドベースの価格は一部を除いて登録されていませんので、部品表作成機能(listparts)で部品表を作成後、ブルーブックで価格を確認してください。

7.13.アセンブリ拘束とシミュレーション機能(mvdm)について

モールドベースのアセンブリ拘束に不整合(過剰拘束)があると、シミュレーションが正常に動作しないことがあります。

アセンブリ拘束の不整合は「拘束更新」(eval3)で確認して、不要な拘束は「拘束削除」(delcnt)で削除することができます。

7.14.カタログウィンドウからドラッグ&ドロップで登録されたモールド部品について

カタログウィンドウからドラッグ&ドロップで配置したモールド部品は、自動的にアセンブリ拘束されません。また、グループにも登録されません。

カタログウィンドウからドロップしたモールド部品や、Modelerの標準モデリング機能で作成したソリッド部品については、「拘束付加」(addcm)や「点面間拘束付加」(ptdcm)を使って手動でアセンブリ拘束してください。

また、グループ管理ダイアログの「追加」機能を使って、手動で適切なグループに登録してください。

7.15.旧バージョンとの共存について

本バージョンは、Space-E/Mold Ver.5.1(sp2)以前のバージョンとの共存はできません。

必ず一度アンインストールを行い、再起動後にVer.5.2のインストールを行うようにしてください。

7.16. アンインストール時の環境復旧について

Space-E/Mold のインストール時に *Space-E/Modeler* および *Space-E/Draw* のセットアップ環境を *Space-E/Mold* 用に一部変更しています。*Space-E/Mold* をアンインストールする際には、これらを以前のセットアップ環境に復旧する必要があります。復旧の手順等については、インストールガイドを参照してください。

Space-E/Mold 用に環境を変更しているフォルダは以下のとおりです。

(インストール先ドライブ¥H¥Z¥S より説明します。)

Modeler¥MoldBackup¥bin	→ Modeler¥bin
Modeler¥MoldBackup¥config	→ Modeler¥config
Modeler¥MoldBackup¥data	→ Modeler¥data
Modeler¥MoldBackup¥run_field	→ Modeler¥run_field
Draw¥MoldBackup¥icon	→ Draw¥icon
Draw¥MoldBackup¥gal_field	→ Draw¥gal_field
Draw¥MoldBackup¥run_field	→ Draw¥run_field

発行通知書

Space-E/Mold Version 5.2

初版発行 2013年01月15日

発行 株式会社 NTT データエンジニアリングシステムズ

〒144-8601 東京都大田区西蒲田 7-37-10
